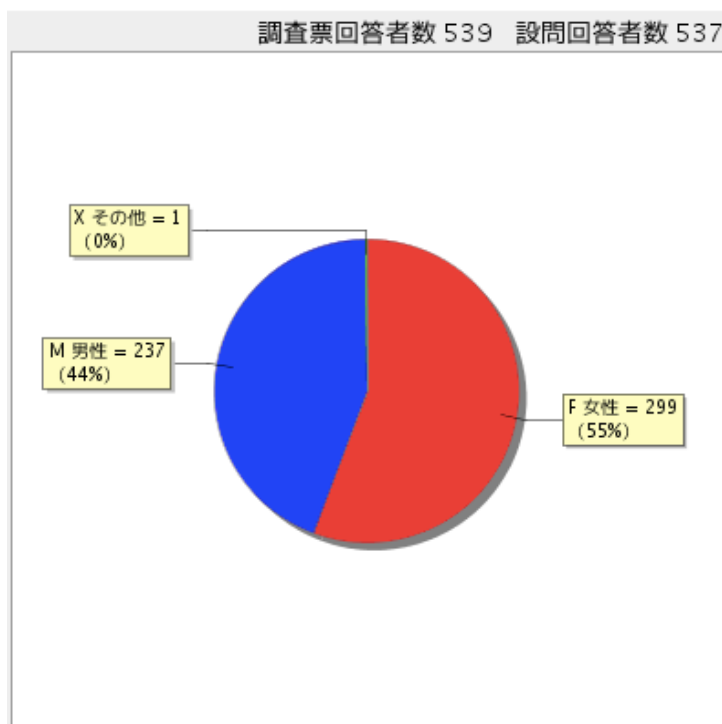
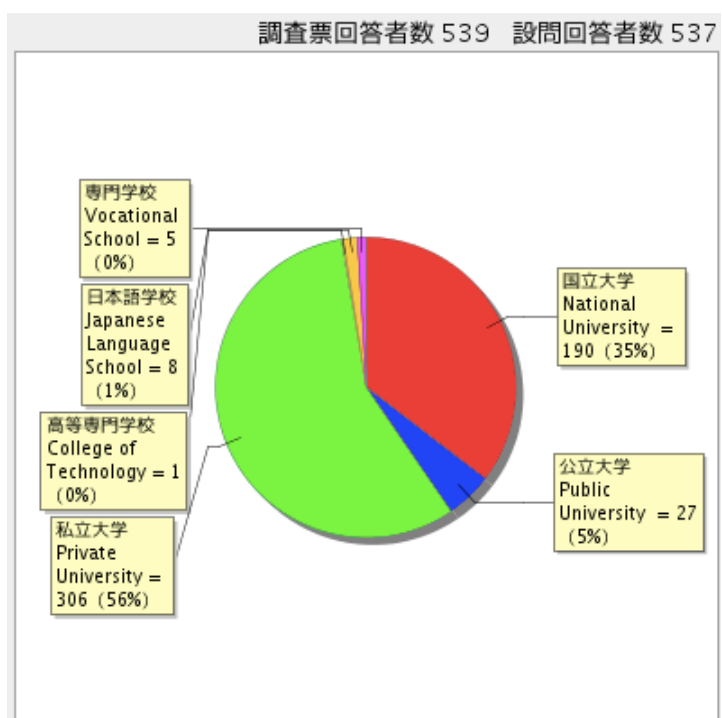


## 留学生教育学会緊急調査（外国人留学生対象）速報

### Q3 回答者性別



### Q6 学校種別



## Q8 回答者出身国

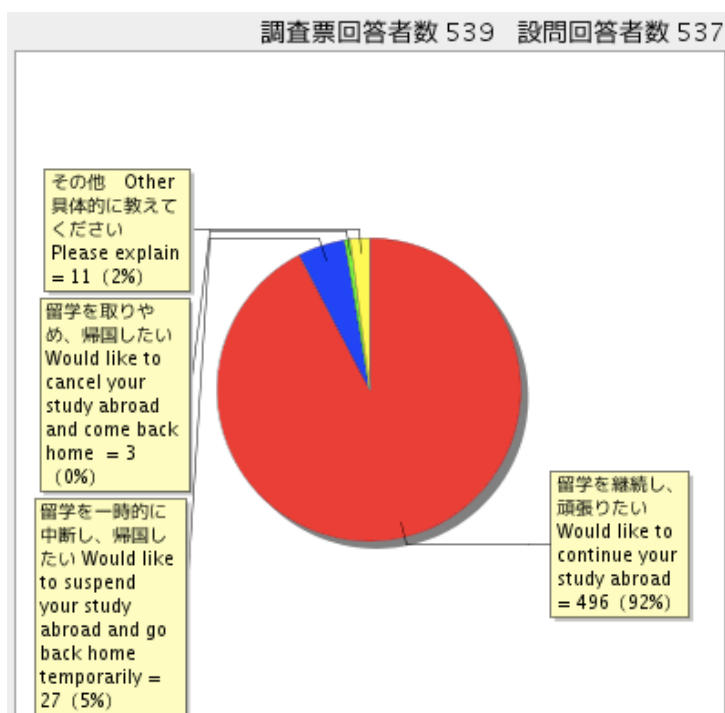
(540人中)

中国 China 273 (51%)  
インドネシア Indonesia 33 (6%)  
韓国 South Korea 31 (5%)  
ベトナム Vietnam 29 (5%)  
バングラデシュ Bangladesh 14 (2%)  
ミャンマー Myanmar 14 (2%)  
モンゴル Mongolia 14 (2%)  
マレーシア Malaysia 12 (2%)  
台湾 Taiwan 11 (2%)  
フィリピン Philippine 8 (1%)  
ウズベキスタン Uzbekistan 7 (1%)  
ドイツ Germany 6 (1%)  
インド India 5 (0%)  
スリランカ Sri Lanka 5 (0%)  
ロシア Russia 5 (0%)  
アメリカ合衆国 United States 4 (0%)  
フランス France 4 (0%)  
ブラジル Brazil 4 (0%)  
タイ Thailand 3 (0%)  
カンボジア Cambodia 2 (0%)  
シンガポール Singapore 2 (0%)  
オーストラリア Australia 1 (0%)  
カナダ Canada 1 (0%)  
スペイン Spain 1 (0%)  
ネパール Nepal 2 (0%)  
パキスタン Pakistan 1 (0%)  
その他 Other 42 (7%)

※その他は、ハンガリー、フィンランド、オーストリア、ブルキナファソ、ラオス(2)、

キルギス (2)、ブルンジ、ソロモン諸島、カザフスタン、マリ、ポーランド、ザンビア (2)、ナイジェリア、タジキスタン、ニカラグア、香港 (5)、キューバ、アイルランド、モーリシャスなど (回答順)

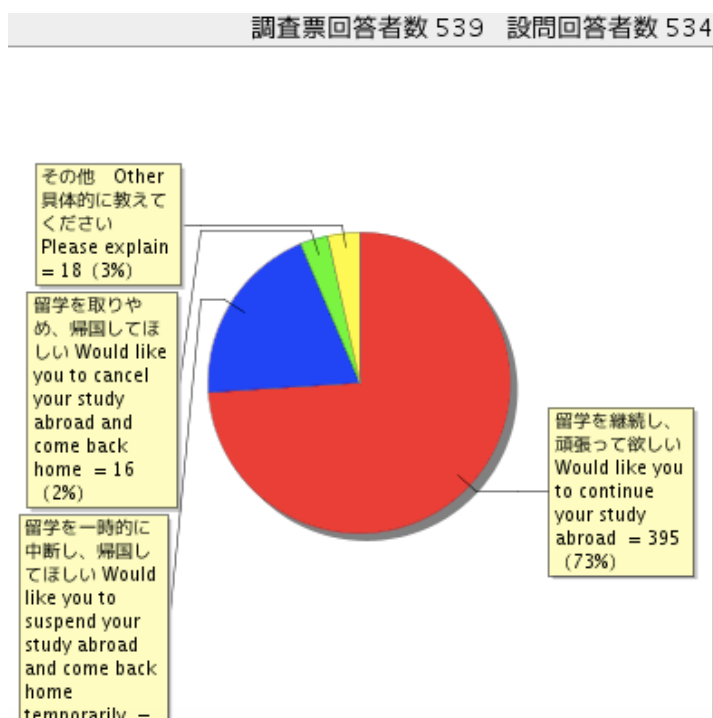
### Q9 留学に対する姿勢



92%の留学生在が留学を継続し頑張りたいと回答している。その他の回答としては、「母国に帰りオンラインの授業を受けたい」(関東・私立大・東アジア・女子)「一時的に休学したい」(関東・私立大・東アジア・男子) という声もあった。

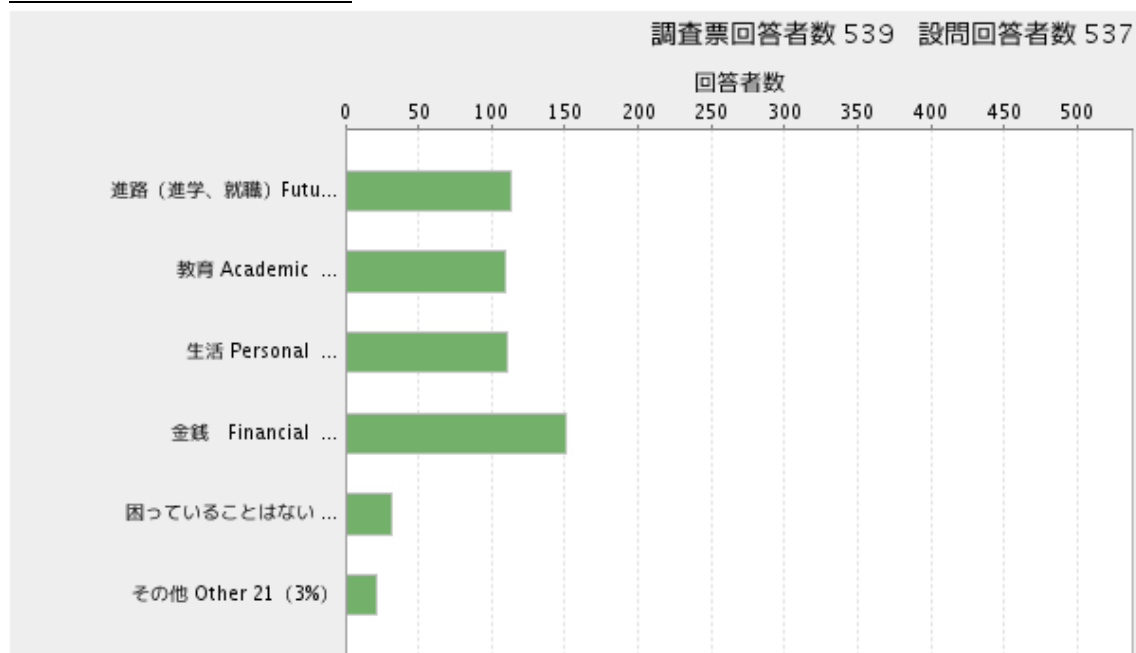
## Q10 留学に対する家族の考え

およそ7割の留学生の家族は、留学を継続し頑張ってもらいたいと思っている。しかしながら、留学を取りやめ帰国してもらいたいと考えているという回答が2割ほどあった。またその他の回答としては、「現状が悪化したら帰国してもらいたい」(東北・国立大・中国・女子)



「家族が非常に心配してはいるが、どういう決断をしたら良いのかわからない」(中部・国立大・大洋州・女子)「留学よりも自分の安全のことを考えて欲しい」(関東・私立大・東南アジア・男性) というような家族が学生のみを按じる声や「今後の留学のことは本人の意思に任せる」(中部・公立大・アフリカ中近東・女子) という留学生自身に結論を委ねているケースもある。

## Q11 一番困っていること



様々な学生の声が寄せられている。以下は代表的なもの。

#### ① 金銭的な問題

金銭的な問題を抱えている留学生の声が最も多く寄せられている。アルバイトがなくなり、家賃、生活費、学費をどうまかなえば良いのかが分からず困っているという声が多かった。特に家での時間が増えているため、生活費がかさんでいるようである。短期的であれば、なんとか生活ができる状態ではあるが、長期的に続いた場合、生活すること自体が難しいそうだ。現在、「光熱費が支払えない」（関西・国立大・欧米・男子）、「1日1食しか食べれない」（関西・私立大・中国・女子）という留学生もいる。

#### ② 健康・精神面での問題

家にずっと居るため、孤独、不安、憂鬱な感情が常にあるという声も多く寄せられている。日本には頼れる人がいないため、万が一新型コロナウイルスに感染したら、具合が悪くなったら、どう対応したら良いのか不安を訴えている留学生が多くいる。メンタルヘルスに関しては真剣に考える必要がある。中には「基礎疾患があるため、新型コロナウイルスに感染したらどうしたら良いのかわからない」（東北・私立大・東アジア・男子）という声もあった。

#### ③ 学習面での問題

オンライン授業になり、家での学習が効率よくできない、対面授業と比べると教育の質が劣るという声もあった。その他、「大学に行くことができず図書館を利用することができないため、研究に必要な資料や文献を収集することができない」（関東・私立大・東アジア・男子）（中部・私立大・中国・女子）という声も上がっている。

#### ④ 先が見えないことに対する不安

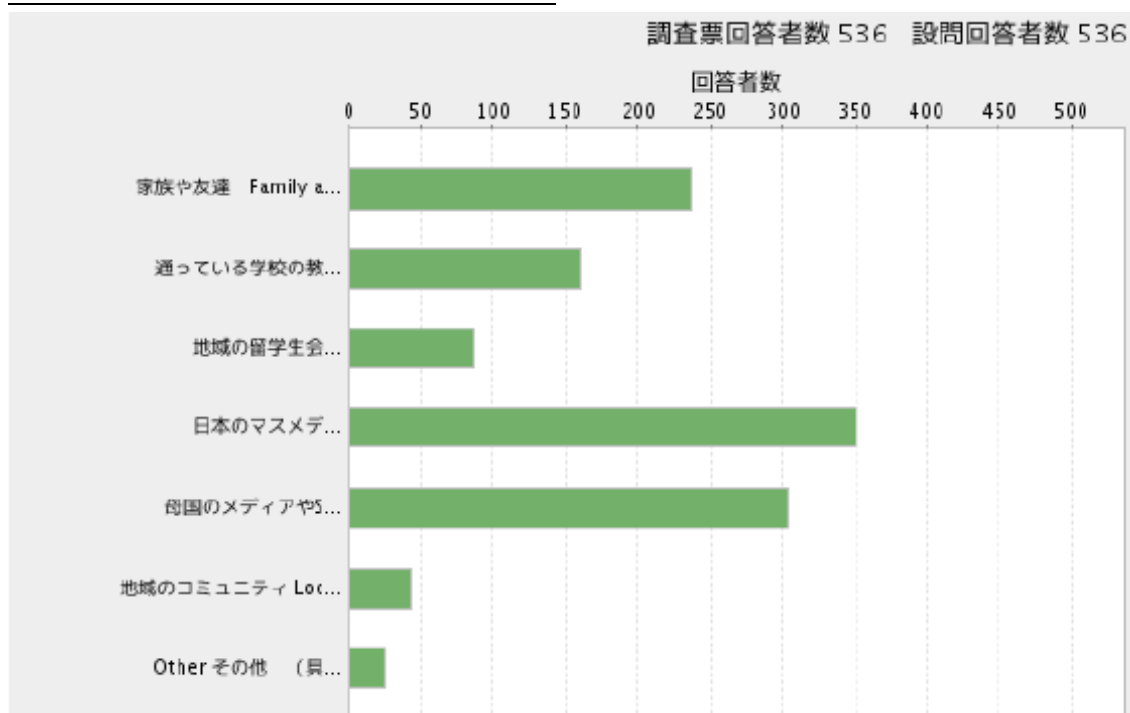
現在の社会状況がどれくらいの期間続くのかわからず、予定通り卒業ができるのか、就職・進学ができるのかという先が見えないことに対する不安の声が多くあった。また、卒業が遅れた場合、奨学金支給期間が終了してしまうのではないかと（東北・私立大・中国・男子）、就職ができなかった場合は、在留資格が切れてしまうのではないかと（関西・国立大・中国・男子）という様々な不安の声があった。留学生に限ったことではないが、ビザの問題が絡むだけに、留学生はより深刻化しやすい。

#### ⑤ 日本にいるのに何もできないことに対するフラストレーション

日本に来たら日本の言語・文化に触れることができると思っていたが、家から出る

ことができず、体験を逸することにフラストレーションを感じている。

### Q15 新型コロナウイルスに関する情報源



※新型コロナウイルスの情報源は、日本のマスメディアや SNS (65%)、母国のマスメディアや SNS (56%)、家族や友達 (44%)、通っている学校や教職員 (30%) という順番で回答が多かった。日本や母国のリソースだけではなく、その他の海外の情報を頼りにしたり、YouTube や WHO のウェブサイトも参考にしている学生もいる。

### Q16 外国人留学生在が政府や学校に期待する支援

以下の通り、留学生から様々な声が寄せられている。

#### ① 金銭的な支援

金銭的な支援を求める声、特に学費の減額もしくは免除を求める声が寄せられている。学校の施設を利用していないためその分減額して欲しいというのが主な理由である。また奨学金給付期間の延長を求める声（関西・専門学校・東南アジア・女子）、アルバイトが可能になった時に週 28 時間の制限を撤廃して欲しいと求める声（関東・私立大・中国・女子）、家賃や光熱費をアルバイトができるようになってから支払えるような制度を導入して欲しい（中部・国立・東南アジア・男子）という声など、経済面への配慮を求める多様な声が寄せられている。

#### ② 英語での情報提供

英語での定期的かつ最新の情報提供を求める声が多くあった。特に、ローカル情報は英語で情報提供されていない傾向にあり、地方で学ぶ留学生に情報が行き届いていない事が窺われる。「英語や母国語での日本の、住んでいる地域の情報が欲しい」（中部・国立大・東アジア・男子）という声や「外国人専用の相談を設けて欲しい」という声（関東・私立大・中国・男子）があった。また、学校の授業に対する方針がなかなか固まらず、オンラインの授業を提供するという情報が遅く混乱したという留学生の声もあった（中部・国立大・中国・男子）。迅速かつ最新の情報が留学生に伝わるよう、政府や学校は対応する必要がある。

### ③ 学習における支援

授業がオンライン化しているため、その支援を求める声がある。授業オンライン化に伴い、自宅での学習時間が増え課題や読み物が増えている傾向にある。そのため、学生がきちんと学べるよう十分な時間を与えて欲しい、課題の締め切りを延ばして欲しいという声がある。たぶん対面であれば比較的簡単に理解できるような内容であっても、メディアを通すとわかりにくいことがあるようだ。また、今後このような状態が長期化されることを考慮し、資料や本の pdf 化、オンライン化、本の貸し出しの郵送サービスの提供など、様々な要望が留学生から出ている。

### ④ 精神面での支援

留学生が家で孤立してしまっている傾向にあり、住んでいる地域のコミュニティとの交流を深めたいという声、大学に精神面でのサポートを求める声（中部・国立大・中国・男子）が上がっている。

### ⑤ 新型コロナウイルスの感染を防ぐための物資の提供

マスクや消毒液が品薄でなかなか手に入りにくい状態であるが、新型コロナウイルス感染を防ぐための物資の提供を求める声が多くある。

以上

文責：石倉佑季子・近藤佐知彦